

教養科目

教養科目には、学習の基盤としての言語力や課題発見力などを養うための科目、工業系の実習をするのに必要な基礎的な知識、技術を学ぶための科目、人文系、社会系、自然系及びスポーツの科目があります。

大学での学びの基盤を身につけるとともに、社会人として必要な教養を幅広く学ぶことができます。また、体力を維持・向上させ、健康に生活するために必要な知識を獲得することができます。

言語系科目

言語系科目と理数系科目では一部クォータ科目を導入して、工学に必須の基礎を効率的に学びます。

言語系クォータ科目では、工学についての論文を読むのに必要な基礎的な英語力と論理的思考力を身につけることができます。さらに、上位の英語系科目を修得することで、国際的に活躍するエンジニアに必要な英語コミュニケーション力を身につけます。

理数系科目

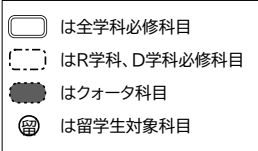
理数系コア科目では、工学を学ぶ上で直接必要な数学・物理・化学に触れ、基礎となる概念を理解し、それらを工学に応用できるようになることを目指します。さらに、上位の理数系科目を履修することによって、専門科目の学習や大学院での研究に必要な能力を獲得することができます。

環境系科目

環境系科目を履修することで、環境共生社会に貢献するための基礎知識が身につきます。環境問題について具体的・総合的に考えることができ、自らの意見や考えを発信することができるようになります。

社会連携・国際交流科目

国際理解科目では、国際理解を深め、英語での研究・発表能力を向上させます。その他に、留学生向けの科目があります。



- ・大学で深く学び、社会人としてのアイデンティティーを確立し、主体的に学ぶ力と社会人基礎力を身につける。
- ・実工学の学びに必要な基礎を身につける。
- ・生涯を通して知的で豊かな生活を送り、多様な視点で環境共生社会に貢献できる教養を身につける。